

クアドラル、待望のスタンダード・ライン「シグナム

ドイツの老舗ブランドから 戦略シリーズがついに登場

ドイツの老舗スピーカーブランド、クアドラルから新たなスピーカーが登場した。その名は「シグナム・シリーズ」。その最も大きな特徴は、リングラジエーター搭載の新しいRicomΣ（リコムシグマ）トゥイーターを投入したこと。ハイエンドモデルのみに搭載されていたもので、この価格帯のスピーカーに搭載するは異例のこと。いま、各国のスピーカーブランドが普及価格帯に注力を注ぎ始めている状況のなかで、ドイツの古豪ブランドもついに動き出した。戦略シリーズがいよいよベールを脱ぐ。早くも「オーディオ銘機賞2022」でも見事に受賞を果たしている。



QUADRAL SIGNUM Series

スピーカーシステム



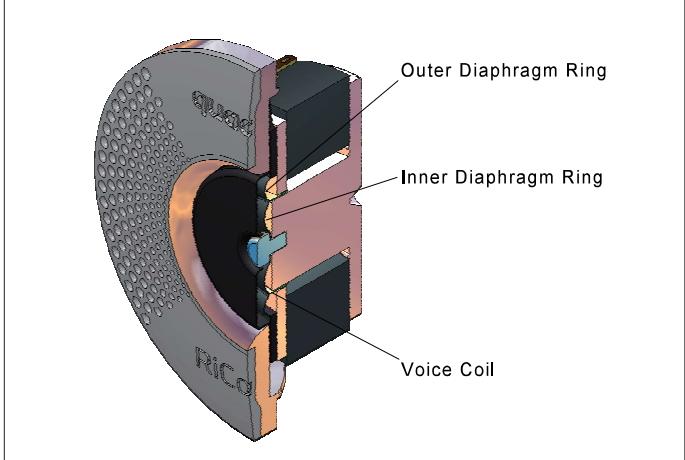
●取り扱い：ネットワークジャパン

■QUADRAL「SIGNUMシリーズ」の仕様

SIGNUMシリーズ	90(写真右)	70(写真左)	20(写真下)
価格(ペア／税込)	¥275,000	¥217,800	¥126,500
形式	3ウェイ	3ウェイ	2ウェイ
基本デザイン	バスレフ	バスレフ	バスレフ
Nom./music power (W)	150/220	120/180	60/90
再生周波数域(Hz)	27~32,000	32~32,000	42~32,000
クロスオーバー(Hz)	550/3,100	800/3,100	3200
能率(dB/1W/1m)	90	89	85
インピーダンス(Ω)	4	4	4
トゥイーター	RicomΣ	RicomΣ	RicomΣ
ミッドレンジ	180mmØ TitaniumPP	155mmØ TitaniumPP	—
ウーファー	180mmØ TitaniumPP×2	155mmØ TitaniumPP×2	155mmØ TitaniumPP
サイズ(H×W×Dmm)	1050×195×347	900×170×294	300×170×260
質量(kg/1本あたり)	24.1	17.32	6.54
仕上げ	ブラック／ホワイト	ブラック／ホワイト	ブラック／ホワイト

Text by
井上千岳

Chitake Inoue
Photo by 田代法生



新採用のRicomΣ(リコムシグマ)トゥイーターは超軽量(0.31g)のシルク素材リングラジエーター。従来のトゥイーターと比べて極めて優れた帯域特性、応答性を実現。さらに革新的なダイアフラムの支持方式により、共振の排除とさらなる応答性の向上をはかっている。

振動板が固定されていない 斬新なトゥイーター機構

クアドラーは1972年にドイヤー・メーカーで創業したスピーカーのハノーバーで創業したスピーカーのドップブランドとして業界を牽引する存在となっている。

SIGNUMは豊富なラインアップのトップから3番目に当たり、ミドルクラスと考えていい。定評あるリボン・トゥイーターに代わり、Ri-COMΣというユニットの採用が注目される。

リング状のシルクドームというガード・ユニットを應用したもので、トランスペューサーいわゆるマンガード・ユニットを應用したことになるが、推測なのでこれ以上は言及を避けておくことにする。

ウーファーとミッドレンジのコーンはチタンコート・ポリプロピレンである。他のシリーズにも使正在用している定番ユニットである。

ラインアップはフロント用3種のうちの1種である。Ri-COMΣは、Ri-COMの3倍の重量である。Ri-COMΣは、Ri-COMの3倍の重量である。

ピアノはタッチが明快で付帯音のない正確な出方をする。低音部の量感と力感がつしりと把握され、厚手だが重苦しくなることはなく、その厚みが肉質感となつて音楽を真正面から捉えた力強い再現だ。余韻も過剰ではなく、どこまでも明瞭でくつきりしている。

室内楽も曖昧さのない鳴り方で、弦楽器のハーモニーが極めて精密に明瞭な線で重なつているのが印象的だ。どの帯域にも偏りがなく瞬発力に富んで隅々まで搖るがせにせず、緻密そのものである。

オーケストラは引き締まつて質感の密度が高く、大音量になつても決して崩れることがない。端正印象である。

ことだが、資料を見ると「振動板が固定されていない」「ベンディングウェーブ」という説明が見える。

トランスペューサーいわゆるマンガード・ユニットを應用したもので、トランスペューサーいわゆるマンガード・ユニットを應用したことになるが、推測なのでこれ以上は言及を避けておくことにする。

ウーファーとミッドレンジのコーンはチタンコート・ポリプロピレンである。他のシリーズにも使正在用している定番ユニットである。

ピアノはタッチが明快で付帯音のない正確な出方をする。低音部の量感と力感がつしりと把握され、厚手だが重苦しくなることはなく、その厚みが肉質感となつて音楽を真正面から捉えた力強い再現だ。余韻も過剰ではなく、どこまでも明瞭でくつきりしている。

室内楽も曖昧さのない鳴り方で、弦楽器のハーモニーが極めて精密に明瞭な線で重なつているのが印象的だ。どの帯域にも偏りがなく瞬発力に富んで隅々まで搖るがせにせず、緻密そのものである。

オーケストラは引き締まつて質感の密度が高く、大音量になつても決して崩れることがない。端正印象である。

がむしろ心地よい。弱音部の滑らかな優しさも対照的で、多彩な表現力に引き入れられるのである。

「SIGNUM70」は15・5cmのミッドレンジと同じ口径のダブルウーファーによる3ウェイ。

「SIGNUM90」も3ウェイ

とセンター用。ここではセンター用以外の3モデルを紹介する。

緻密で正確でありながら 深く伸びる強靭な低域

「SIGNUM20」はブックシェルフ型で、15・5cmウーファーとトゥイーターの2ウェイ。

密できめ細かな出方だが神経質なところがなく、立ち上がりの速さとすつしりした質感がベースとなつて正攻法の再現性を得ている。

ピアノはやはり緻密で正確だが、安心感に溢れた再現性である。

ピアノはやはり緻密で正確だが、安心感に溢れた再現性である。

ピアノは出だしの一音から安心感がそのまま再現されている印象だ。サイズどおりの堂々とした

音がそのまま再現されている印象はないかと推測される。だとした

ら大変斬新なユニットということになるが、推測なのでこれ以上は言及を避けておくことにする。

ウーファーとミッドレンジのコーンはチタンコート・ポリプロピ

レンである。他のシリーズにも使正在用している定番ユニットである。

ラインアップはフロント用3種のうちの1種である。Ri-COMΣは、Ri-COMの3倍の重量である。

ピアノはタッチが明快で付帯音のない正確な出方をする。低音部の量感と力感がつしりと把握され、厚手だが重苦しくなることはなく、その厚みが肉質感となつて音楽を真正面から捉えた力強い再現だ。余韻も過剰ではなく、どこまでも明瞭でくつきりしている。

室内楽も曖昧さのない鳴り方で、弦楽器のハーモニーが極めて精密に明瞭な線で重なつているのが印象的だ。どの帯域にも偏りがなく瞬発力に富んで隅々まで搖るがせにせず、緻密そのものである。

オーケストラは引き締まつて質感の密度が高く、大音量になつても決して崩れることがない。端正印象である。

オーケストラは引き締まつて質感の密度が高く、大音量になつても決して崩れることがない。端正印象である。

オーケストラは引き締まつて質感の密度が高く、大音量になつても決して崩れることがない。端正印象である。

オーケストラは引き締まつて質感の密度が高く、大音量になつても決して崩れることがない。端正印象である。

オーケストラは引き締まつて質感の密度が高く、大音量になつても決して崩れることがない。端正印象である。

オーケストラは引き締まつて質感の密度が高く、大音量になつても決して崩れることがない。端正印象である。

「SIGNUM70」は15・5cmのミッドレンジと同じ口径のダブルウーファーによる3ウェイ。

感がそのまま再現されている印象だ。サイズどおりの堂々とした

音がそのまま再現されている印象だ。サイズどおりの堂々とした

音がそのまま再現されている印象だ。サイズどおりの堂々とした